

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587036901	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (教育相談) / Educational Counseling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taniguti nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館215番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週金曜日14:30?15:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	カウンセリングとソーシャルサポートを有機的に結びつけ、効果的な援助を提供する方法について理解すること。		
授業到達目標/Goal	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる(?, ?, ?, ?, ?, ?, ?)。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようにする(?, ?, ?, ?, ?)。		
授業方法 (学習指導法) /Method	主として、講義形式(視聴覚教材、心理尺度等の実習教材、プリントを適宜使用)で行う予定にしているが、心理アセスメントやグループワークなどを可能な限り多く取り入れ、アクティブラーニング形式となるようにしたいと考えている。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容(概要) 心理的な悩みや困難を抱えた人に対する援助には、カウンセラーなど専門家によるサポートと親密な他者など非専門家によるサポートの二つが存在する。本講義では、カウンセリングとソーシャルサポートの理論、学校・家庭場面におけるカウンセリングとサポートの実践、カウンセリングとサポートの効果を抑制する要因などについて解説する。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習・復習では、教科書はもとより、新聞、インターネット、専門書、学術論文など多くの情報源に当たって、講義内容に関する理解をさらに深めてほしい。		
キーワード/Key word	カウンセリング, 心理アセスメント, ソーシャルサポート, グループワーク		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	カウンセリングとソーシャルサポート?つながり支えあう心理学? ナカニシヤ出版		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験50% 発表・討論・実習への貢献30% 課題レポート20% この他に、授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。 合格基準は全体評価の60%以上		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業外学習 (週平均約2時間)		
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	心理アセスメントやグループワークなどの効果を最大限得るために、受講人数を一定数に制限する場合があります。また、心理アセスメントやグループワークの内容および実施回数を、受講人数に合わせて調整する必要があるため、第1回目の講義の際に、確定した講義内容をあらためて説明する。受講を希望する学生諸君は、その説明を聞いた上で、最終的な履修登録の判断を行ってほしい。		
学生へのメッセージ/Message for students	可能な限りアクティブラーニング形式となるようにしたいと考えているので、学生諸君の積極的な授業参加を期待している。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	カウンセリングとは何か: 定義・歴史・効用		
第3回	カウンセリングとパーソナリティ		

第4回	カウンセリングの理論と技法(1)：クライアント中心療法
第5回	カウンセリングの理論と技法(2)：行動療法
第6回	カウンセリングの理論と技法(3)：認知行動療法
第7回	カウンセリングの理論と技法(4)：精神分析療法
第8回	カウンセリングと心理アセスメント(1)：知能検査
第9回	カウンセリングと心理アセスメント(2)：性格検査
第10回	カウンセリングと心理アセスメント(3)：職業適性検査
第11回	カウンセリングとサポート活動
第12回	ソーシャルサポートとは何か：理論的導入
第13回	ソーシャルサポートと発達
第14回	学校・家庭場面におけるカウンセリングとソーシャルサポート
第15回	カウンセリングとソーシャルサポートの抑制要因
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 金 / Fri 5
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587037301	科目番号 / Subject code	05870373
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12321_006		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (文学と社会) / Literature and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11, 教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student	カテゴリー「変容する環境とリテラシー」, テーマ名「15-A14 教育と?化」受講?		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kenhorii_nu*outlook.com (*の箇所に@)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館6階611番研究室		
担当教員TEL/Tel	kenhorii_nu*outlook.com (*の箇所に@)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	?曜?午後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	主題は?洋の古代ギリシアの歴史です。教養としての古代ギリシアの社会についての知識を学びます。外国の歴史を学ぶのは外国語?献を読むことから始まりますから、皆さんには英語の絵本のようなものを翻訳してもらいます。その作業によって「知ること」に対する態度を養います。翻訳で内容を理解した上で古代ギリシアの社会の特徴を学びます。そこから現代社会にまで受け継がれる?化や教育の特徴を考えます。		
授業到達目標/Goal	?洋の古代ギリシアの歴史, 社会, ?化の特徴を説明できるようにする (? , ? , ? , ? , ? , A , B , D)。英語による歴史叙述を読んで理解することができる (? , ?)。英語による歴史叙述の内容を?本語で伝達できるようにする (? , ? , ? , D)。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英?翻訳の予習, 翻訳?の完成のためのグループディスカッションの機会を設けて主体的な参加を求めつつ, 古代ギリシア社会の考察を?ないます。PCの使?とLACSの利?を予定しています。小テストも行います。		
授業内容/Class outline/Con	S. Peach & A. Millard, The Greeks, Tulsa, 1990のイラスト世界史のシリーズ本を題材に使います (第4・5回のみA. Villing, The Ancient Greeks, Los Angeles, 2010)。あらかじめ課題プリントを配布するので翻訳と下調べの予習をしてもらいます。予習の内容を講義時にグループディスカッションしたりクラスで発表してもらいます。5つの主題についてレポートを提出してもらいます。また第13?15回の講義に備えて、ヒルトン『チップス先?, さようなら』新潮社 (?庫) を読んで、19世紀後半から21世紀の初めの英国パブリックスクールの課程の中でギリシア語やラテン語が?近にあったことを把握しておいて下さい。 第1回 ガイダンス 第2回 OfficeアプリOneNoteの使い方 第3回 Social structure?翻訳の検討 第4回 社会階層のまとめ 第5回 Democracy in Athens?翻訳の検討 第6回 アテネ?主政のまとめ 第7回 Learning?翻訳の検討 第8回 学問のまとめ1 第9回 学問のまとめ2 第10回Sculpture?翻訳の検討 第11回 彫刻のまとめ 第12回 ヨーロッパの?学の起源 第13回 現代?の教養としての古代ギリシア?化1 第14回 ?テスト, 現代?の教養としての古代ギリシア?化2 第15回 古代ギリシアと現代についてディスカッション		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	配布資料の英語文を予習として翻訳をしておく。ヒルトン『チップス先?, さようなら』新潮社 (?庫) を読んで、登場する古代ギリシア・ローマの?ことについて掲載ページ番号を含め抜き書きをする予習をする。事後に翻訳文やまとめをLACSで提出する。		
キーワード/Key word	古代ヨーロッパ、歴史、文化、英語圏の子供向け教材		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: P. レベック『ギリシア文明?神話から都市国家へ』創元社, ヒルトン『チップス先?, さようなら』新潮社 (?庫)。参考書: 伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』講談社, ?本茂他『?洋の歴史 [古代・中世編]』ミネルヴァ書房。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	古代ギリシアに関する教養的知識の?テスト (40%), レポート (50%), 予習・復習などの授業課題への良い取り組み (10%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成?しない。ただし、やむを得ず (正当な理由で) ?席する場合は、単元に応じた個別指導を?なう。授業外学習に週平均2時間以上を充てること。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	初回に予習の仕?について案内?書を通じて?すので、それに従って予習をすること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2017/04/06 ~ 2017/05/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170587038101	科目番号 / Subject code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (芸術) / Art		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kankan_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部 美術技術教室 2F 2 1 2		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	前期 金曜 12:00~12:30 (事前にメールでの予約が必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	美術における喜びや感動を感じる。 感じたことを表現する喜びを学ぶ。		
授業到達目標/Goal	日常生活(社会)に潜む芸術について説明や表現ができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	表現と鑑賞領域の2つを基に、実技(制作)と鑑賞を通して授業を行う。実技については個別制作 共同制作を実施		
授業内容/Class outline/Con	鑑賞及び制作の実技を取り入れた授業。		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は授業時に説明 事後学習は、授業で行ったことをまとめておくこと、それに関連する本や資料等を各自で読んで おくこと		
キーワード/Key word	工芸・美術 長崎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	各自が準備するもの 切り出し(カッターナイフは不可)、新聞紙、竹トンボの教材(授業時に説明)デジカメ。教科書は使用しない。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	5分の4以上の出席者を評価の対象とする。提出物(作品やレポート等)60%、受講の姿勢 40%		
受講要件(履修条件)/Requirements	実技を実施するので定員は40名以内		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	事前学習を含め、作品制作のための材料・道具の準備が確実にできること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	今まで学んできた造形表現・図画工作・美術、工芸を振り返りながら、生活に潜む造形について発 見する力を開拓する。		
第2回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす? 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞		
第3回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす? 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞		
第4回	鑑賞 映画に潜む造形をさがす? 映画鑑賞を含むので第2、3、4回は同じ映画の鑑賞		
第5回	ディスカッションや感想の発表 鑑賞 映画に潜む造形をより深く探求する? 長崎に関係する映画より 映画鑑賞を含むので5と6は同じ映画の鑑賞		

第6回	鑑賞 映画に潜む造形をより深く探求する？長崎に関する映画より映画鑑賞を含むので5と6は同じ映画の鑑賞
第7回	5 鑑賞 6 鑑賞について ディスカッションと発表
第8回	竹トンボ（1） アイデアスケッチ&飛ぶための要点
第9回	竹トンボ（2） 道具を使っての制作 手で考える
第10回	竹トンボ（3） 道具を使って制作 素材を考える
第11回	竹トンボ（4） 道具を使って制作 道具の使い方を再考する
第12回	竹トンボ（5） 道具を使って制作 まとめ
第13回	竹トンボ（6） 鑑賞と講評 - 飛ばしてみて -
第14回	ペイント・マッチ
第15回	発表 まとめ・レポートの提出
第16回	